

論文審査の結果の要旨

氏名：松 島 えり子

専攻分野の名称：博士（医学）

論文題名：思春期の夜間排尿回数と睡眠問題の関連についての疫学研究

審査委員：（主査） 教授 鈴木 正 泰

（副査） 教授 森岡 一 朗 教授 高橋 悟

教授 新見 昌 央

成人、特に高齢者においては、夜間頻尿によって睡眠障害が引き起こされることが知られている。睡眠障害は思春期においても認められるが、この年代における夜間排尿回数と睡眠との関連はこれまで明らかにされていない。

このような背景から、申請者は、日本の首都圏の私立中高一貫校に在籍する 1,757 人の中・高校生を対象に、自記式質問票を用いた横断調査を実施し、夜間排尿回数と睡眠問題との関連を検討した。調査では、睡眠の状態および夜間排尿回数のほか、食習慣やインターネット依存の有無、クラブ活動の参加状況、精神健康度に関するデータが収集された。有効回答を得た 1,699 人（回収率：96.7%）のうち、16.4%が不眠症状（入眠障害、中途覚醒、早朝覚醒）を有していた。夜間排尿回数 0 回は 81.4%、1 回は 13.1%、2 回以上は 5.1%であった。夜間排尿回数と不眠症状との関連を交絡因子を調整し解析したところ、入眠困難、中途覚醒、およびいずれかの不眠症状を有する者の割合は、排尿回数の増加に伴い増えることが明らかとなった。

本研究は、思春期における夜間排尿回数と睡眠問題との関連を検討した初めての研究である。成人と同様に、この世代においても夜間頻尿が睡眠障害の原因になることを明らかにした点において新規性が高い。本研究の結果は、思春期における睡眠障害の原因として夜間頻尿を念頭に置く必要性を示すものであり、同年代の睡眠障害診療に大きく寄与するものである。また、公衆衛生学的施策の立案にも有益な情報を提供するものである。

よって本論文は、博士（医学）の学位を授与されるに値するものと認める。

以 上

令和 5 年 2 月 22 日